

コパキソン®皮下注20mg シリンジ 自己注射ガイド (自己注射指導者向け)

医薬品リスク管理計画 (RMP)

監修 湘南慶育病院 院長
慶應義塾大学 名誉教授 鈴木 則宏 先生
慶應義塾大学医学部 神経内科 教授 中原 仁 先生

準備するもの 自己注射の際には以下のものが必要になります。

コパキソン皮下注20mgシリンジ

室温に戻してから注射します。



オートジェクト2

コパキソンを注入するための補助器です。



オートジェクト2の詳細は、自己注射ガイドブックをご参照ください。

消毒用アルコール綿

注射部位を消毒します。



*こちらは一例です。

ばんそうこう

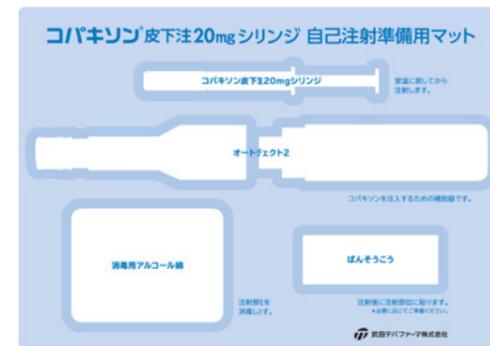
注射後に注射部位に貼ります。



*必要に応じて準備します。

コパキソン皮下注20mgシリンジ 自己注射準備用マット

自己注射に必要なものを配置するマットです。



廃棄ボックス

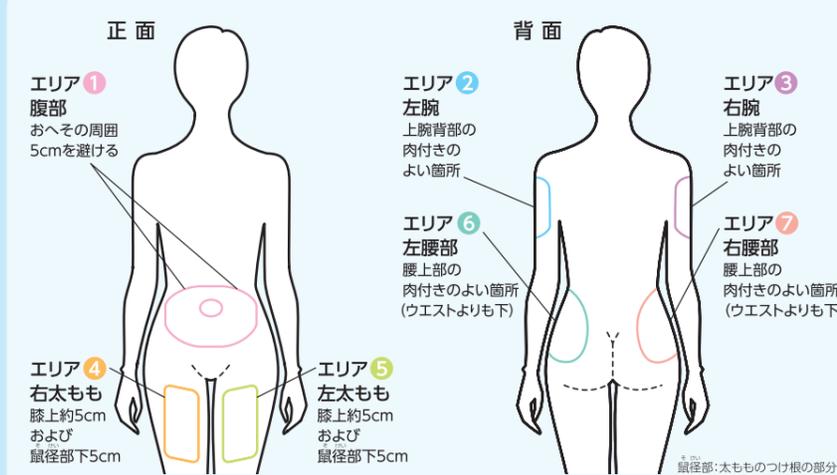
使用済みのシリンジ、
ニードルキャップを廃棄します。



自己注射ローテーションについて

注射部位が赤くなったり、痛みが生じたり、かゆくなる、はれる、しこりができるなどの症状を減らすために、自己注射の部位をローテーションします。

- 原則として、注射部位のエリア(1~7)を毎日変えながら注射します。
- 患者さんご自身で注射ができない部位は、指導を受けたご家族が注射することも可能です。
- 注射した部位は忘れないようにコパキソン患者手帳に記入しておきます。



事前チェック

- シリンジは冷蔵庫から出して、室温に戻してありますか？
- シリンジは有効期限内のものが用意されていますか？
- 手はよく洗いましたか？
- オートジェクト2は正常に動きますか？
- シリンジを確認した際に、異物等の混入はありませんでしたか？
- 前回と違う注射部位を選んでいきますか？

自己注射の準備をする



- 1 箱から一回分のシリンジをプリスター(包装)ごと取り出し、室温に戻すためそのまま20分程度放置します。使わないシリンジは速やかに冷蔵庫に戻します。

シリンジを取り出した際に、注射液の量や異物の有無を確認します。量が少なかったり、異物が認められるようであれば、そのシリンジは使用しないでください。

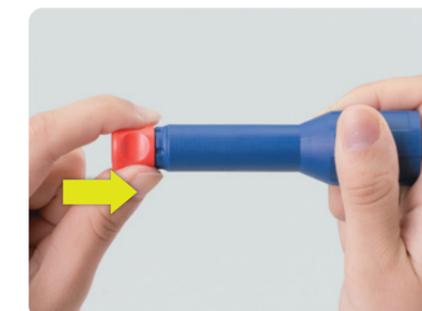


- 2 セッケンで両手をよく洗います。

手を洗う際は、指と指の間や爪などてもいぬいに洗います。



- 3 室温に戻したシリンジをプリスターから取り出し、準備用マットの上に置きます。また、専用のポーチからオートジェクト2を取り出し、同様に準備用マットの上に置きます。そのほか、消毒用アルコール綿、必要に応じてばんそうこうも準備用マットの上に置きます。また廃棄ボックスも忘れずに用意します。



- 4 オートジェクト2のキャップリムーバーが、デプスアジャスターにしっかりと取り付けられていることを確認します。



- 5 キャップリムーバーでデプスアジャスターを回転させ、シリンジハウジングの端に印字してある適切な刺入深度の目盛に合わせます。
* 適切な刺入深度は医師に相談してください。

刺入深度が6mmの場合は、デプスアジャスターに印字してある目盛を6の位置に合わせます。

自己注射の準備をする

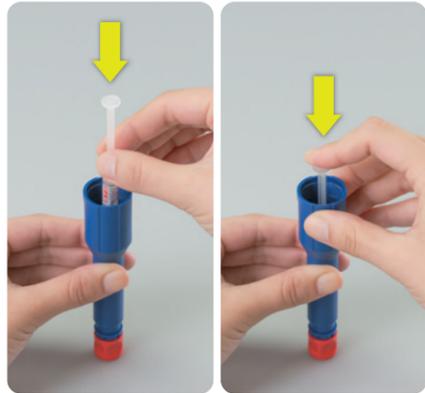
コパキソンを注射する

後片付けをする



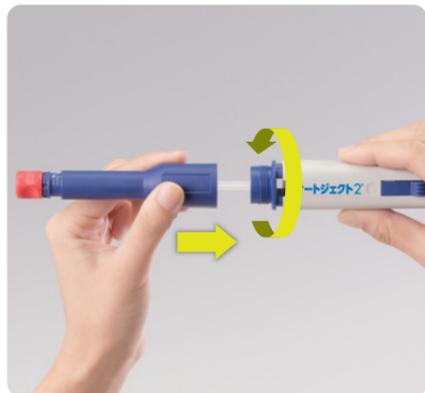
- 6** シリンジハウジングのキャップリムーバーをインジェクタのプランジャーへまっすぐに当てます。カチッという音が聞こえるまでシリンジハウジングで完全にプランジャーを押し込み、プランジャーをロックした後、シリンジハウジングを取り外します。

この操作の際にはファイアリングボタンには触れないようにしてください(押し込めない可能性があります)。



- 7** 平らな面に、キャップリムーバーが付いたシリンジハウジングを置き、シリンジハウジングの中へ、ニードルキャップを付けたまま、シリンジを針先から挿入します。シリンジがカチッとはまる感じがするまで、シリンジハウジングの中へしっかりと押し込みます。

決して、この段階で、ニードルキャップを外さないでください。



- 8** シリンジハウジングとインジェクタを回して締めます。

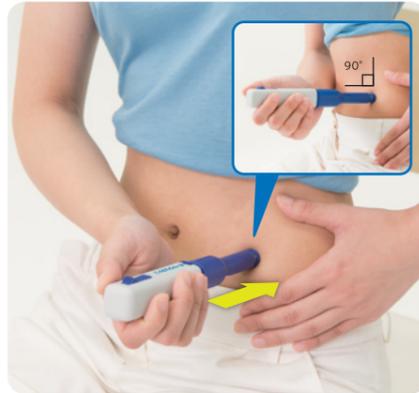


- 9** キャップリムーバーをまっすぐ引き抜くと、キャップリムーバーと一緒にニードルキャップが、シリンジから外れます。

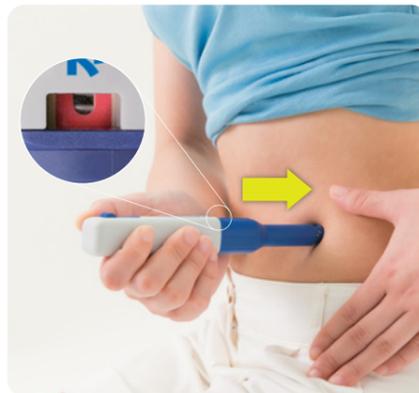
※キャップリムーバーを取り外した後に薬液のしずくがみられることがありますが、問題ありません。



- 1** 消毒用アルコール綿等で注射部位を消毒し、よく乾かします。



- 2** インジェクタウィンドウが見える向きで、皮膚に対して垂直にオートジェクト2の先端部(デプスアジャスター)を当てます。軽く力を加えるとボディカバーがシリンジハウジングに向かって動きます。



- 3** インジェクタウィンドウを確認しながら、ファイアリングボタンを軽く押し、注入を開始します。注入が完了するまで、オートジェクト2を皮膚に押し当てたまま接触させておきます。**10秒ほど経ってインジェクタウィンドウのレッドマークが表示されたら、注入完了です。**

注射液の液漏れを防ぐため、レッドマークがあらわれてからオートジェクト2を離します。



- 4** オートジェクト2を皮膚から離し、必要に応じて注射部位にばんそうこうを貼ります。注射部位はもんだり、こすらないようにします。

針先がシリンジハウジングから飛び出した状態ですので、皮膚から離してからは、オートジェクト2の扱いに注意してください。



- 1** 注入し終わった後、インジェクタを回しシリンジハウジングを取り外します。



- 2** シリンジハウジングから、使用したシリンジを引き抜き、専用の廃棄ボックスに廃棄します。キャップリムーバーからニードルキャップを取り除き廃棄します。

使用したシリンジは再利用しないでください。

シリンジを捨てる際、外したニードルキャップを再び装着しないようにしてください。

廃棄ボックスは、小児等の手の届かない場所に保管し、いっぱいになったら、次回受診時に、かかりつけの医療機関に持参するようにしてください。

赤いキャップリムーバーは廃棄しないでください。

すべて終わったら、注射部位を「コパキソン患者手帳」に記録します。

習熟度チェック

- オートジェクト2にシリンジは正しくセットできましたか?
- ニードルキャップはきちんと外れましたか?
- 注射部位を消毒した後、十分に乾かしましたか?
- オートジェクト2による注入はうまくできましたか?
- シリンジは適切に廃棄できましたか?
- 患者手帳に注射部位を記録しましたか?